

卒業生と大学をつなぐ Communication leaflet vol.2

コミュニケーション・リーフレット

環境システム学科

www.sys.wakayama-u.ac.jp/es/



【学部より】

学部長より

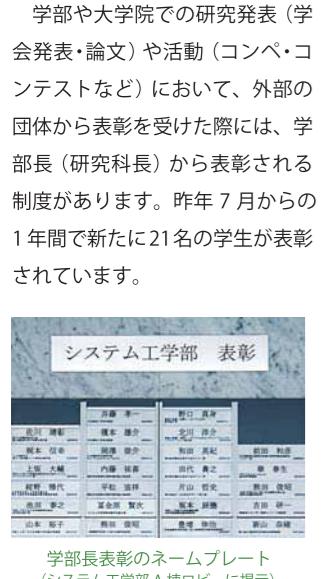


卒業生の皆様にシステム工学部のリーフレットをお送りする季節になりました。毎年300名を超える学生を社会に送り出し、多くの職場で高い評価を得ていることを誇らしく、心強く感じる次第です。

国立大学は法人化され、これまで以上に自主自律の心構えと具体的な取組が求められています。それには卒業

システム工学部長 平田 健正

学生表彰



システム工学部 表彰
学部長表彰のネームプレート
(システム工学部 A棟ロビーに掲示)



受賞

- 土木学会 平成18年度土木学会関西支部年次学術講演会 優秀発表賞第VII部門 (2名)
KES International KES'2005 9th International Conference on Knowledge-Based & Intelligent Information & Engineering Systems BEST PAPER AWARD (2名)
情報処理学会情報科学技術フォーラム推進委員会 FIT2005 第4回情報科学技術フォーラム FIT2005 ヤングリサーチャー賞
日本分析化学会 日本分析化学会第55年会 Problem-Solving 学生ポスター賞
日本感性工学会2005 日本感性工学会賞大会 優秀発表賞
日本建築学会九州支部 まちづくり提案競技「城下町くまもとに住みつくす」佳作 (7名)
2006年「情報社会のデザイン」シンポジウム (第1回) 優秀論文賞
屋上開発研究会 屋上利用提案競技 最優秀賞
電気通信普及財団 第22回電気通信普及財団賞 (テレコムシステム技術学生賞)
情報処理学会 第69回全国大会学生セッション 学生奨励賞
電気通信普及財団 第22回電気通信普及財団賞 (テレコムシステム技術学生賞)
アジア太平洋トレードセンター株式会社 第12回 ATC 関西学生卒業作品展 佳作
日本建築家協会近畿支部 2007年 JIA 近畿支部学生卒業設計コンクール 最優秀賞

【学科より】

学科長より



卒業生・修了生の皆様、こんにちは！お元気ですか！
的関心の高まりなどにより、学科には元気な後輩が入学
学科では、3月には学部卒業者 67 名、大学院修了者 12
名を送り出し、4月には学部1年生65名、大学院1年生
36名の入学がありました。

学科の教員の活躍・努力、地球温暖化など環境への社会

環境システム学科長 濱田 學昭

2006年度の卒業生・修了生との賑々しい記念写真

スタッフの異動

環境システム学科の
スタッフ異動は右記のとおりです。

中島 敦司 教授：昇任 (H19.4.1)

山本 秀一 准教授：昇任 (H19.4.1)

01.“和歌山大学新駅(仮称)、新設予定！”



南海電鉄本線に、「和歌山大学新駅」(仮称)が新設されるプロジェクトが進行しています。3月25日に起工式が行われました。新駅は、線路とプラットホームの上をまたいで架けられた橋の上に駅舎が設けられる橋上駅タイプになる予定です。平成24年の春ごろの完成を目指した計画になっています。

03. 移動式キッチン装備車 Campus DELI³



▶ キッチン設備のメリットを生かして、より美味しく温かいメニューを提供します。

Campus DELI³とは、移動式キッチンを装備した専用車で、昨年より活躍しています。大学のシンボルカラー調にあわせたオレンジの車体です。4~6月に、テイクアウト丼メニューを中心に出食します。

【ご案内】

これからも、今回のようなリーフレットを皆さんに送付し、和歌山大学システム工学部と環境システム学科の情報を発信していくたいと考えています。それに際して、今後の送付先の確認の記入用紙

と返信用の封筒を同封させて頂きました。添付のアンケートとともにご返信いただきたく存じます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

編集

和歌山大学
システム工学部 技術室

連絡先

〒640-8510
和歌山県和歌山市栄谷 930
和歌山大学システム工学部 環境システム学科事務室
Tel:073-457-8334 E-mail:wukankyo@sys.wakayama-u.ac.jp

wakayama-university TOPICS

02. キャリアサポート室 開設



今年4月より、システム工学部内にキャリアサポート室を開設しました。毎日多くの学生さんが利用しています。

04. 和大オリジナルグッズ 展開中



左上 和大煎餅
上 和大Tシャツ ▶ 和歌山大学実施の
デザインコンクール「T-CUP」において
優秀デザインを採用。

左 和大飴 (蜜柑・柚子・桃・梅・いちご)
他にも多数のオリジナルグッズを展開中です。詳しくは、和歌山大学生協 HP

▶ http://www.wu-coop.jp/
logo/catalog.html

Letter!

from
laboratory

レター！ フロム・ラボラトリー



山本秀一
研究室



江種伸之
研究室

最近、太陽熱を利用した農地土壤消毒法の開発に関する研究を始めました。化学物質に頼らない環境保全型の農地消毒法なので、せひとも良い成果を出して、技術の普及につなげたいと思っています。

研究以外では、昨年度から宇民先

環

境デザイン、環境テクノロジー、環境モデリングの3グループ構成による教育・研究等の整備を推進しています。

グループの研究室は、デザイン(濱田、日下、本多、足立、金子、林田、宮川、平田(隆)、テクノロジー(井伊、養父、中島、山田、谷口)、モデリング(平田(健)、江種、山本、吉田、谷川、中尾)です。

整備推進の骨格として、本年度からほぼ5年をかけてカリキュラムの見直しを実施します。

また、外部への情報発信の核である学科ホームページの整備・充実を促進しています。



金子泰純
研究室

2006年11月
桜の植樹 コスモ山にて

バイオマス資源の利活用、廃棄物最終処分場の適地選定に関する研究を継続しています。

また、ここ2年、大学の環境報告書作成に関連して、省エネ・ごみ発生抑制・リサイクル等、環境負荷削減の

取り組みに関する研究も進めています。皆さんと始めた大学のごみ量調査は、和歌山大学環境管理委員会の下、全学の取り組みとして展開中で

す。コスモ山の桜の植樹も続けてい

ます。現在、第2弾を完成させるべく和歌山県内を対象に実走調査とシミュレーションで研究を進めています。おかげで体力も向上、とても元気になりました。

幸い、予算(科研、萌芽研究)を得て第1弾の論文を完成させることができます。



中島敦司
研究室
(B-612
みどり研究室)

研究室のプライベートな遊びとしてカヌーに乗って遊んでいます。学生の社会活動への参加も変わらず盛んです。

研究の方は、温暖化、森や水辺での調査は今まで通りで、最近では砂漠に

まで行くようになりました。夜のお遊び「妖怪探し」も健在です。今年は妖怪エコツアーマで行いました。

このように少しだけ変化した研究室にも遊びに来て下さい。



宮川智子
研究室

今年度の予定

8月 中辺路の調査

9月 野迫川村、龍神村、泉佐野市の調査

10~11月 堺市浜寺地区的調査

景観から見た都市と農山漁村の地域性・つながり

都市やその周辺に位置する農山漁村の景観について比較検討し、現在の枠組みを超えた地域性やつながりの発見を見出すべく、調査研究を進めています。継続テーマである中辺路、龍

神村、御坊市、高野山東側周辺集落、泉佐野市をはじめ、今年度は、御坊市および周辺地域の農村・漁村、かつらぎ町の大和街道、堺市浜寺地区において研究を行っています。

Look! 学生活動

楽しく環境を学ぶ 楽環 (らっかん)

楽環「楽しく環境を学ぶ」をテーマに自主演習を行っています。4年生:10人、3年生:16人、2年生:1人、1年生:39人と参加者が多く、幅広く活動しています。

人から与えられる課題ではなく、自分がやりたい課題を自分で見つけ、課外活動演習だからこそできる思い切ったことを提案し、それについて本気で打ち込めるフィールドです。建築、緑、都市、地域、環境教育、福祉など、様々な分野から環境を見据え、考え、そして実践ていきます。

楽環で自分たちが学んだことを、公表し合い、意見を交わし合うことによって、環境システム学科らしい広い視野を磨きつつ、他分野への理解を深める柔軟な思考力を養います。

実際の現場に立つことにより、臨場感のある刺激的な体験の中で、自分たちのスキルアップを図りつつ楽しく有意義な活動を行っているチームです。



かせだ
笠田祭り

楽環の行事のひとつである笠田祭への参加の模様です。祭りでは屋台の出展や竹製休憩小屋づくり、会場設営を担っています。今年で4年連続の参加となり、地元の方達から若い活力として期待されています。



環境教育

小学生に川で環境教育を実施しました。環境を守っていく大切さを次世代に伝えていくこと。これも私たちの大事の活動です。



小屋づくり

和歌山県かつらぎ町の桃農園で観光客用の休憩小屋づくりをしました。授業で設計製図を勉強したことをキッカケに、施工も勉強したいというメンバーの強い思いから実現しました。地域の人たちと協力しあえたことも思い出深いです。